

比較文化論 (Comparative Culture)

担当教員名: 准教授 鈴木 栄樹

【概要】

江戸時代以降、日本人は世界をどういうふう認識・整理し、そしてその中に自国をどう位置づけてきたか。それと同時に世界は日本をどういうふうに見てきたのか。近現代日本の自画像と対外観、そして外国の近現代日本観を本、映画、その他のメディアを通じて分析する。

【授業の一般目標】

日本の自己像と世界観や他国の日本観に関する知識を得る。文明、文化、民族の諸概念を批判的に考える姿勢を取得する。自国の文化と他国の文化を相対的に見る目をトレーニングする。

【成績評価方法・基準】それぞれに課題を設定したうえでレポートを提出してもらう。また、最終レポートに至るまでに2、3回ほどの中間レポートの提出を要求される。レポートの評価は、その独自性・独創性および調査の程度等によって評価される。また、講義の終わりに、講義の内容についての理解をペーパーで問うこともある。

【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

ビデオや映画などの視聴覚教材も利用する予定。なお、下記のウェブ・サイト上で授業に関する参考情報を公開している（随時更新）。

<http://www.kyoto-phu.ac.jp/labo/kyouyou/eijuszk/index.html>